琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件　日米協ギ（委）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): 日米協議委員会 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43724

[redacted]

秘
無期限

final

沖縄に関する協議委員会
第12回会合

議長用メモ

昭和42年3月1日

（着　席）

（報道関係者は、あらかじめ所定の位置に入場、写真撮影の後退場）

1.（開会及び議事日程採択）

「只今より、沖縄に関する協議委員会の第12回会合を開催いたします。」

（通　訳）

「まず、ジョンソン大使から御発言の希望があると承知しております。大使どうぞ。」

（ここで、ジョンソン大使より、技術委員会の議長である副民政官リチャードソン大佐及び民政府計画局予算部長ボディガ中佐を紹介）

「大使ありがとうございました。私は、本委員会の議長として、また日本側を代表してリチャードソン大佐及びボディガ中佐の参加を心から歓迎いたします。」

（通　訳）

「それでは本日の議題についてお諮りいたします。お手許にお配りした議事日程案に御異議ありませんか。」

（通　訳）

（米側より異議なき旨発言）

「御異議がなければ、これにて議事を進めます。」

（通　訳）

2.（議題1　技術委員会提出の昭和42会計年度日本政府対沖縄援助計画一覧表（一部昭和43会計年度に支出されるものを含む））

「それでは議題1の技術委員会提出の昭和42年度日本政府対沖縄援助計画一覧表（一部昭和43会計年度に支出されるものを含む）についての討議に移ります。この対沖縄援助計画

一覧表は、1月25日開催の第11回協議委員会で提出された昭和42会計年度日本政府の対沖縄援助に関する日本側対案について、日米間の非公式協議で調整し、合意した案を2月21、22の両日那覇で開催された技術委員会において、さらに検討した結果作成されたものであります。本日は幸い技術委員会議長であるリチャードソン大佐が出席しておられますので、同氏より計画一覧表を協議委員会に御提出願いたいと存じます。」

（通　訳）

（リチャードソン大佐から一覧表について簡単に説明の上、これを三木大臣及びジョンソン大使に手交）

「ありがとうございました。日本側を代表して、技術委員会の御努力を多といたします。日本側は、技術委員会から提示された計画一覧表を日本政府の予想援助計画といたしたいと存じます。すなわち、日本側の具体的援助計画を最終的に確定するためには、昭和39年4月25日付交換公文第2項(c)に規定されているとおり、なお国内的措置を要するのでありますが、日本政府として

は、その留保を付した上で、この計画一覧表を日本政府の沖縄に対する援助計画とすることに同意するものであります。米側においても、同様の了解をもつて、この予想援助計画に同意されるか否かおたずねしたいと存じます。」

（通　訳）

（ジョンソン大使より同意する旨発言）

「これによつて、昭和42年4月以降の日本政府の予想援助計画について合意が成立いたしました。日本政府の沖縄援助は逐年増加してきましたが、ここに合意された援助計画も前年度に比し大巾の増額になつております。この事実は、日本政府及び国民の沖縄に対する至大の関心の現われにほかならない次第であります。

沖縄住民の福祉の向上と沖縄の経済開発は、日米両政府共通の関心事であると信じます。されば、私は、来年度における日本政府の援助計画が合意されたこの機会に、現に沖縄において施政権を行使している米国側においても、この共通の目的のために米国からの援助を同様に拡大

し、もつて米国民政府及び琉球政府が抱懐される沖縄の経済社会開発のための長期計画の実施の促進を可能ならしめるよう、切なる希望を表明したいと思います。

米国側の援助増額は、プライス法の改正の成否にかかつていると承知しております。私は、この問題について日本政府部内のみならず、国会方面にも強い関心のあることを申し上げ、プライス法の限度額引上げの早期実現に関する日本側の強い関心を本国政府にお伝え下さるようお願いしたいと思います。」

（通　訳）

（ここでジョンソン大使より発言がある予定）

（通　訳）

「ここで塚原総務長官より御発言願います。」

（通　訳）

（塚原総務長官発言）

（通　訳）

3.　（議題2　沖縄船舶旗問題）

「次に議題2の沖縄船舶旗問題に移ります。米側より御発言願います。」

（通　訳）

（米側より船舶旗の変更に同意する旨発言）

「第9回日米協議委員会以来懸案になつておりました沖縄船舶旗の変更に関する日本側提案に、米側が同意されたことに対し感謝の意を表します。今回の沖縄船舶旗の変更に関する合意の成立が、船舶に日章旗を掲げたいという沖縄住民の要望に応えるとりあえずの措置として、沖縄住民によつても高く評価されることを期待するものであります。」

（通　訳）

「次に塚原総務長官より御発言願います。」

（通　訳）

（塚原総務長官発言）

（通　訳）

「ほかに発言の御希望はありませんか。」

（通　訳）

「なければ、これにて議題2に関する討議を終ります。」

（通　訳）

4.（議題3　新聞発表についての合意）

「最後に、議題3の新聞発表振りについてお諮りいたします。事務当局で用意した発表文案をお手許にお配りしてありますが、これを報道関係者に配付し、それによつて説明を行なうこととしたいと考えますが、御異議ありませんか。」

（通　訳）

（米側より同意する旨表明）

「では、新聞発表については、只今申し上げたとおりとり運ぶことに決定いたしました。」

（通　訳）

5.（閉　会）

「本日の委員会は、皆様の御協力をもつてきわめて円滑に議事を進めることができました。皆様の御協力を感謝いたします。第12回協議

委員会は、これをもつて閉会いたします。ありがとうございました。」

（通　訳）

秘
無期限

1

沖縄に関する協議委員会
第12回会合
議長用メモ

昭和42.3.1

(着席)

(報道関係者は、あらかじめ所定の位置に入場、写真撮影の後退場)

1. (開会及び議事日程採択)
「只今より、沖縄に関する協議委員会の第12回会合を開催いたします。
(通訳)

「先ず、ジョンソン大使から御発言の希望があると承知しております。大使、どうぞ」

(ここで、ジョンソン大使より、技術委員会の議長

GA 外務省

2-1

である副民政官
~~[illegible]~~ リチャードソン大佐及び ~~[illegible]~~ 民政府計画局予算部長 ~~[illegible]~~ ボディガ大佐を紹介)

「大使、ありがとうございました。私は本委員会の議長として、又、日本側を代表してリチャードソン大佐及び ボディガー大佐の参加を心から歓迎いたします。」

(通訳)

「それでは本日の議題についてお諮りいたします。お手許にお配りした議事日程案に御異議ありませんか。」

(通訳)

GA 外務省

（米側より異議なき旨発言）

「御異議がなければ、これにて議事を進めます。」

（通　訳）

2　（議題1　技術委員会提出の昭和42会計年度日本政府対沖縄援助計画一覧表）
（一部昭和43会計年度に支出されるものを含む）

「それでは　議題1の技術委員会提出の昭和42会計年度日本政府対沖縄援助計画一覧表
（一部昭和43会計年度に支出されるものを含む）
についての討議に移ります。この対沖縄援助計画一覧表は、1月25日開催の第11回協議委員会で提出された昭和42会計年度日本政府の対沖縄援助に関する日本側対案について日米間の非公式協議で調整し、合意した案を2月21、22の両日那覇で開催された技術委員会

において、さらに検討した結果作成されたものであります。本日は幸い（技術委員会議長であるリチャードソン大使）が出席しておられますので同氏より計画一覧表を協議委員会に御提出願いたいと存じます。」

（通　訳）

（リチャードソン大使から一覧表を三木大臣及びジョンソン大使に手交）

「ありがとうございました。日本側は、技術委員会から提示された計画一覧表を日本政府の予想援助計画といたしたいと存じます。すなわち、日本側の具体的援助計画を最終的に確定するためには、昭和39年4月25日付交換公文第2項（c）に規定されているとおり、なお、国内的措置を要するのでありますが、日本政府

としては、その留保を付した上で、この計画一覧表を日本政府の沖縄に対する援助計画とすることに同意するものであります。　米側においても、同様の了解をもって、この予想援助計画に同意されるか否かおたずねしたいと存じます。」

（通　　訳）

（ジョンソン大使より同意する旨発言）

「これによって、昭和42年4月以降の日本政府の予想援助計画についての合意が成立いたしました。私は、この計画に基づく援助が沖縄住民の福祉の向上と沖縄の経済開発に役立つとともに、沖縄に関する密接な日米協調関係の維持にも貢献することを希望するものであります。なお、この機会に、私から、米国政府のすみ沖縄

援助増額について一言御要望しておきたいと存じます。わが国からの沖縄に対する援助は、ただ今合意されましたとおり、飛躍的な増加を示そうとしております。しかしながら、これが沖縄の経済発展と住民の福祉の向上に真に役立つためには、現に沖縄に施政権を行使している米国政府もその援助を増加することが期待されるのであります。現に米国政府としても沖縄の経済、社会開発のための長期計画において今会計年度以降米国からの援助が増額されることを予想されていると承知しております。しかしながら、このような増額が可能となるか否かは、一にプライス法の改正の成否に懸っていると承知しております。私は、この問題について

日本政府部内のみならず、国会方面にも強い
関心のあることを申し上げ、プライス法の限度
額引上げの早期実現に関する日本側の強い
関心を本国政府にお伝え下さるようお願い
します。」

（通　訳）

（ここでジョンソン大使より発言がある予定）

（通　訳）

「ここで塚原総務長官より御発言願います。」

（通　訳）

（塚原総務長官発言）

（通　訳）

3（議題2　沖縄船舶旗問題）

「次に議題2の沖縄船舶旗問題に移ります。
米側より御発言願 ——>

います。」

（通　訳）

（米側より船舶旗の変更に同意する旨発言）

「第9回日米協議委員会以来懸案になって
おりました ~~琉球籍船舶~~ 沖縄船舶旗の変更に関する
日本側提案に、米側が同意されたことに対し
感謝の意を表します。今回の ~~琉球籍船舶~~
沖縄船舶旗の変更に関する合意の成立が、船舶に
日章旗を掲げたいという沖縄住民の要望に応ぜ
とりあえずの措置として、沖縄住民によっても高く
評価されることを期待するものであります。」

（通　訳）

「次に塚原総務長官より御発言願います。」

（通　訳）

（塚原総務長官 発言）

（通　訳）

「ほかに発言の御希望はありませんか。」

（通　訳）

「なければ、これにて議題2に関する討議を終ります。」

（通　訳）

4　（議題3　新聞発表についての合意。）

「最後に、議題3の新聞発表振りについてお諮りいたします。事務当局で用意した発表文案をお手許にお配りしてありますが、これを報道関係者に配付し、それによって説明を行なうこととしたいと考えますが、御異議ありませんか。」

（通　訳）

（米側より同意する旨表明）

「では、新聞発表については、只今申し上げたとおりとり運ぶことに決定いたしました。」

（通　訳）

5　（閉　会）

「本日の委員会は、皆様の御協力をもってきわめて円滑に議事を進めることができました。皆様の御協力を感謝いたします。第12回協議委員会は、これをもって閉会いたします。ありがとうございました。」

（通　訳）